

不確実な時代を勝ち抜く エンジニアリング革新

企画・設計プロセスのデジタル化で開く
製造業の未来

8.20(火) 13:30-17:00

経営層～設計現場の幅広い方に向けた デジタルエンジニアリングセミナー

製造業でエンジニアリングは“Shift Left”の時代と言われています。VUCAと呼ばれるように不確かさが上がり、製品企画～設計開発の領域では、従来の踏襲では太刀打ちできないほどの時間と質が求められています。

特に、スキルド人材の獲得、環境負荷低減、企業間コラボレーションなど、新規の課題に対応せねばならず、次期主力製品の開発に向けた責任者のアサインに苦労されている状況を迎えています。

富士通ではエンジニアリングのフルデジタル時代に対し、自事業の未来の姿を描く機会として『経営に貢献するデジタルエンジニアリングセミナー』を開催します。本セミナーでは、“システム×デザイン思考”、“MBXとコラボ環境の活用”、“CAEを活用したデジタルツイン”の具体的事例を基に、貴社に役立つ戦略的な情報を提供いたします。

日時

2024年 8月 20日(火) 13:30～17:00 (受付・展示13:00開始)

会場

富士通株式会社 富士通ソリューションスクエア S棟3階

〒144-8588 東京都大田区新蒲田1-17-25

<http://jp.fujitsu.com/facilities/solutionsquare/>

講演

- 1.基調講演 『Society5.0時代のシステムデザイン
～MBSEと“システム×デザイン思考”の活用～』
慶應義塾大学 白坂 成功 氏
- 2.事例講演 『設計と製造をつなぐデジタルツインの取り組み』
株式会社本田技術研究所 藤井 隆之 氏 他2名
- 3.富士通講演 『富士通が切り開くデジタルエンジニアリングの未来』
富士通株式会社 足立 崇嗣

お申し込み



セミナー登録
詳細はこちら

本セミナーへのお申し込みは、こちらのサイトよりお願いします。
<https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/104541>

講師ご紹介



基調講演講師

白坂 成功

慶應義塾大学大学院
システムデザイン・マネジメント
研究科
研究科委員長/教授



事例講演講師

藤井 隆之

株式会社本田技術研究所
先進技術研究所
次世代電動車研究
アシスタントチーフエンジニア



富士通講演講師

足立 崇嗣

富士通株式会社
クロスインダストリー
ソリューション事業本部
シニアディレクター



事例講演講師

塚田 誠司

プログレス・テクノロジーズ
株式会社



事例講演講師

伊藤 和人

デジタルプロセス株式会社

時間	プログラム	
13:30~13:40	ご挨拶	お客様へのご挨拶と富士通の目指す製造業全体の「サステナブルなものづくり」の実現に向けたビジョンをお話しさせていただきます。
13:40~14:30	基調講演 慶應義塾大学 白坂 成功 氏	Society5.0時代のシステムデザイン ~MBSEと“システムxデザイン思考”の活用~ 生成AIをはじめとする最新技術によって、産業構造の変革が急速に進みはじめている。最新技術によるビジネスや産業構造の変化を捉えたいうえでそれをリードするためには、システムデザイン方法論のアップデートが必須である。本講演では、DXを単なるデジタル利用で終わるのではなく、新価値創造につなげていくための考え方を話した上で、MBSEや“システムxデザイン思考”の活用について、具体的な例も含めて紹介する。
14:30~15:20	事例講演 本田技術研究所 藤井 隆之 氏	設計と製造をつなぐデジタルツインの取り組み 「設計と製造をつないだ手戻りの無い高効率な開発」を可能にするデジタルツイン構想を描き、技術構築を推進しました。 車体製造に用いられるヘミング工程を題材に、Abaqusでヘミングの曲げ予測を行って得られた加工情報をPSRを介して、製造ロボットにつなげる仕組みを構築しました。 この仕組みにより、製造ロボット ⇄ PSR ⇄ Abaqus の相互やり取りが可能となり、設計と製造のデジタルツインが実現できました。 本講演では、実際の量産設備を用いたデジタルツインの取り組み事例を紹介します。
15:20~15:50	休憩	デモ・展示をご覧ください。
15:50~16:40	富士通講演 足立 崇嗣 氏	富士通が切り開くデジタル エンジニアリングの未来 MBSE、MBDなどのDE技術を導入したり、さらにその先にあるイノベーションを起こすために使ったりするためのマネージメントはできているでしょうか？これらを組織的に進めていくためには、SysML等のモデリングスキルではなく、新たなプロセスやツールを適用するための変革マネージメントが特にマネージャー層に必要です。少し先の未来を予測し、投資を得て、チーム員にMBXを実現してもらう。そういった実践に向けた心のありよう~ツール活用の方法までを紹介します。
16:40~16:55	技術講演	富士通株式会社より最新の技術情報“Engineering Accelerator”をご紹介します ① Development Engineering Service、② Engineering Workspace、 ③ Product Project Management、④ Product Development Management
16:55~17:00	ラップアップ	お知らせ等

●セミナー終了後、当日ご登壇いただいた講師陣を交えた懇親会をご用意しております。（参加費無料）

富士通株式会社 経営に貢献するデジタルエンジニアリングセミナー事務局

E-mail:contact-cae-seminar@cs.jp.fujitsu.com